

[東日本大震災現地NPO応援基金]
大和証券フェニックスジャパン・プログラム2015

第1回合同研修会

2015年10月8日(仙台第2日本オフィスビル)

[団体名] 特定非営利活動法人みんなのひろば

[育成スタッフ名] 大泉有民、渋谷由美子



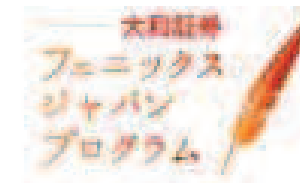
1、NPO法人みんなのひろばの概要について

(定款より)この法人は、フリースクールの運営を中心に、自然体験・ものづくり・職業体験などさまざまな活動を通して、主に学校に行っていない子どもとその保護者を支援する。また、地域の方々のネットワークづくり・交流の機会を増進し、大人と子どもが真剣に向き合い、共に学び、共に遊べる、思いやりのある社会づくりに寄与することを目的とする。

2013年12月 設立準備会発足

2014年11月 法人登記完了

2016年 4月～ 本格的にフリースクール事業開始

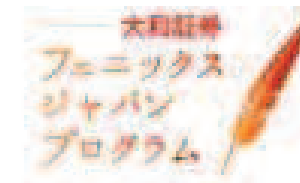


1、NPO法人みんなのひろばの概要について

●児童福祉・児童心理・教育に関わるメンバーが中心となり、福島県伊達市においてフリースクール事業を開始。さまざまな理由で学校に通えなくなってしまった子どもたちをサポートしている。

対象：小学生～高校生 現在25名の登録あり

●併せて、福島県キンボールスポーツ連盟事務局を兼任し、ニュースポーツ普及と交流を図る事業として、県内各地における体験教室活動にも力を入れている。

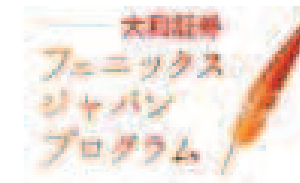


2、今回の育成計画で目指していること

<現在の課題として>

- 新規事業「放課後等デイサービス」の開始に向けてアルバイトスタッフ2名の人材育成
- 雇用体系の整備
- 経営基盤の強化
- 関係機関との連携強化

特に、2名のアルバイトスタッフについて障がい児支援のスキルアップは急務である。



2、今回の育成計画で目指していること

<将来のビジョン>

- ①専門職としてのスタッフの育成
- ②放課後等デイサービス事業の開始
- ③法人としてのスタッフの雇用体系の確立
- ④相談支援部門の開設
- ⑤グループホームの開設

この中で、育成対象である2名にはスタッフの中心となれるような存在になってほしい。



3、育成計画について

<育成対象スタッフ①>

氏名:大泉 有民(おおいずみ ゆみ) 41歳

活動年数:満1年(アルバイトスタッフとして)

担当:主に女兒・女子グループ活動と自立サポート
担当生徒の保護者との相談業務

自己紹介:以前には子どもを対象としたスイミングスクールの指導員として勤務。会計業務や保険業務等の実務経験あり。当法人設立当初よりボランティアスタッフとして活躍してくれていた人材。



3、育成計画について

<育成対象スタッフ②>

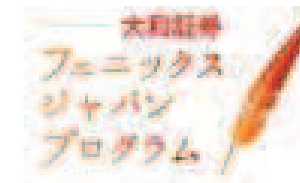
氏 名：渋谷 由美子(しぶや ゆみこ) 33歳

活動年数：満1年(アルバイトスタッフとして)

担 当：児童生徒の学習サポート(英語教科)

女兒・女子グループ活動担当

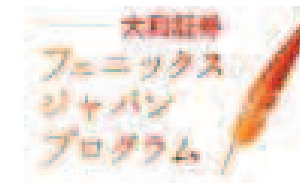
自己紹介：海外留学後、英語講師として勤務。その後、英語の家庭教師を始め、多くの子どもたちと関わり、英語の楽しさ、人と関わること・話すことの大切さを伝えてきた。3年前よりボランティアスタッフとして活躍。



3、育成計画について

<育成の目的>

- 現在アルバイト雇用している2名のスタッフの児童福祉・障がい児教育に関する専門性を高めることを目的とする。
- 将来、「放課後等デイサービス」事業を開始するにあたり、他にもスタッフを増員しなければならない。当法人の理念を理解し、利用者(子どもたち)との関わりも安心して任せることができる、スタッフの核となれる人材として育成したい。



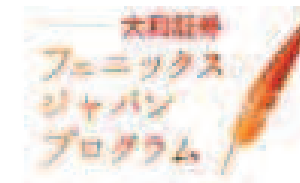
3、育成計画について

<育成の達成目標>

スタッフ2名について児童福祉施設・障がい児施設における勤務経験がない。

- ①社内研修(外部講師を招いての研修も含む)
- ②フィールドワーク研修(施設見学・実務研修)
- ③外部研修への参加
- ④理事会において研修内容の報告会の開催
- ⑤労働条件の整備(労働保険・社会保険加入)

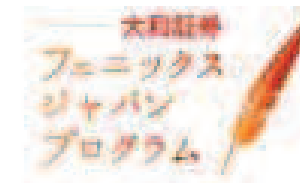
以上の5点を達成目標とする。



3、育成計画について

<育成の方法>

- ①社内研修 外部講師を招いて研修会開催など。
- ②フィールドワーク研修 県内外の福祉施設見学、入所施設等における1週間程度の実務研修
- ③外部研修への参加 行政・関係機関が主催する研修への参加
- ④理事会において研修内容の報告会の開催
- ⑤労働条件の整備 担当税理士と相談の上、労働条件等の整備を図る。



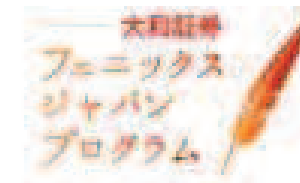
3、育成計画について

<組織としてのフォロー体制>

- フィールドワーク研修(特に実務研修)に関しては、研修場所の選定、事前研修から研修当日、アフターフォロー研修、そして報告会とプログラムを組んで実施。

スタッフ自身が「何を目的として研修を行うのか」「どのようなことを学んできてほしいのか」「学んだことをどのように活かしていけるか」等を具体的に考えられるようにフォローする。研修後には、報告書を作成し提出。

- 報告会においてはプレゼン資料をスタッフ自ら作成し発表する。それらを育成責任者・理事等が評価する。



ご清聴ありがとうございました。

NPO法人みんなのひろば
大泉有民、渋谷由美子



団 体 名：**NPO法人みんなのひろば**
育 成 ス タ ッ プ 名：大泉有民、渋谷由美子
スーパ－バイザー名：齋藤大介

育成事業名：

**線量が高い地域における
発達障がい児サポートの支援力向上のためのスタッフ育成**

事業全体の目標：

- **スタッフとしての専門性や支援力の向上**
- **スタッフの中心となる人材の育成**

育成事業 前半：2015年10月～2016年4月

実施したこと	達成できたこと／変化したこと
1)フィールドワーク研修事前研修 (施設見学・実務研修)	<ul style="list-style-type: none">・福祉サービスについて学んだ・福祉施設の役割や福祉概論、研修の目的について学んだ。
2)社内研修	<ul style="list-style-type: none">・ケース会議に参加し、支援計画について学んだ。
3)外部研修	<ul style="list-style-type: none">・児童発達支援管理責任者研修を修了。個別支援計画書の作成など基礎を学んだ。
4)フィールドワーク研修 (施設見学)	<ul style="list-style-type: none">・福祉施設の種類やサービスの違いを学んだ。
5)フィールドワーク研修 (実務研修)	<ul style="list-style-type: none">・放課後等デイサービス・就労継続支援事業所の見学・実習で、事業内容や運営方針について学んだ。

育成事業 後半：2016年5月～2016年9月

実施すること	目標
1)外部研修への参加	行政や、関係団体が主催する研修へ参加
2)フィールドワーク事前研修 (実務研修に向けて)	実務研修に向けての事前研修
3)フィールドワーク研修 (実務研修) 1週間程度	福祉施設においての実務研修に参加
4)フィールドワーク研修 (施設見学)	東京都や他県の施設を見学する。
5)社内研修	「子どもの権利条約」 「障がい児教育」について学ぶ

課題・悩み（具体的に相談してみたいこと）

- ・たくさんの施設を見学してみて、サービス内容の違いや子どもとのかかわり方の違いを感じ、子どもにとっての最善は何かを今後かかわりの中で見つけていきたいと感じました。
- ・知識だけでなく、経験やスキルがまだ足りないので、今後も講習会や実務研修に参加して、放課後等デイサービス開始までに、いろいろな状況に対応できるようにになりたいと感じました。
- ・フリースクールを利用している子どもたちの居場所も確保できる建物の利用方法や、指導員の増員など、一人ひとりのニーズに合ったサービスが提供できるように職員のスキルアップは欠かせないと感じました。
- ・福祉施設の実習をする中で、福祉の充実はもちろんですが、フリースクールのように子どもたちの居場所を提供できる施設を知ってもらい、基礎学力や社会性を学ぶ場所としても活用してもらいたい。と感じました。